



## ロマン主義マールブルクハウス



 *Marburger Haus der Romantik*  
マルクト 16

35037 マールブルク

電話：06421/917160 ファクス：06421/917162

インターネット：www.romantikmuseum-marburg.de

メール：info@romantikmuseum-marburg.de

開館時間：火曜日 - 日曜日

11時 - 13時及び14時 - 17時

館内及び展示会のガイドスについては

電話917160 でお申し込ください。

2010年/2011年現在

## ロマン主義文化歴史博物館

## ご訪問客の皆様

マールブルクの旧市街中心部にある堂々たるビュルガーハウス（市民の家）内にマールブルクハウスの各部屋があります。2001年に開館したこのマールブルクハウスは、マールブルクのロマン主義者の思い出を愛しみ大切に作る非常に新しい「博物館」です。19世紀への転換期にかけてロマン主義時代における多くの著名人物が同時に、あるいは時を隔ててマールブルクに住んでいました。クレメンスとペティーナのブレンターノ兄妹、フリードリッヒ・カール・フォン・ザビーグニ、ヤコブとヴィルヘルムのグリム兄弟、そして作家のゾフィー・メレアウドです。



ペティーナ・ブレンターノ



クレメンス・ブレンターノ



ヤコブとヴィルヘルムのグリム兄弟



フリードリッヒ・カール・フォン・ザビーグニ

またドイツ初期ロマン主義の最も著名な女性の1人であるカロリーネ・ペーマー、後のシュレーゲル・シェリングもマールブルクに滞在しました。同じ時期にこの町に住んでいた教授、医師、そして作家であるヨハン・ハインリッヒ・ユング、通称ユング・シュティリング、そしてブレンターノ兄妹の祖母であったロマン主義作家のゾフィー・ラ・ロツヘも彼女の最も親しい友人の1人でした。マールブルクのロマン主義者は、リッター通りにあるフォルストホーフにおいて特別形式の社交サークルである「ロマン主義サロン文化」を大切にしていました。

## 展示会場

ロマン主義マールブルクハウスの入口域において、ここに住んでいるロマン主義者の生活と作品を紹介する常時展示会が設置されています。ビーダーマイヤー様式家具のある赤いサロンでは当時の社交文化が描き出されています。

上階にはロマン主義文化と精神史を背景にした移動展示会の展示室があります。2001年9月の開館とともにルードヴィッヒ・エミール・グリムのエッチングが紹介されました。その後、特にマダム・ド・スタール、グリム兄弟、クレメンス・ブレンターノ及びフリードリッヒ・ヘルダーリンに関する展示会が開催されました。展示会には幅広い付随プログラムが組み込まれています。このプログラムについては私どもの招待状、フライヤー、ポスター及び地元新聞に案内が記載されています。またロマン主義をテーマにした朗読会、ワークショップ及び町のガイダンスが定期的開催されています。当初から催されていた文化史に関する一連の講演は、ロマン主義マールブルクハウス登録協会の更なる確固たる構成部です。更に地元の学校と幼稚園との博物館教育プロジェクト及び歴史的テーマと最新テーマに関するオープンディスカッションの夕べが催されます。特にギムナジウム上級の「主要必修科目、ドイツ語」に関する講演とガイダンスに注目が集まっています。また2006年以来、教員継続教育の枠における催し物も提供しています。グループガイダンス、学校のクラス及び開館日時以外の特別な日時については事前にお問い合わせしていただけるよう、お願いいたします。当館ロマン主義ハウスの年間プログラムは電話により、無料でお求めすることができます。更なる詳細なインフォメーションについては、私どものインターネットサイトをご参照ください。

マリタ メッツ・ベッカー教授博士